

親子ふれあい絵本事業

自治体情報 宮城県岩沼市

人口 / 43,530人 標準財政規模 / 9,051百万円

- 担当課** 健康福祉部子育て支援センター
- 電話番号** 直通 0223-36-8762
- 実施主体** 岩沼市
- 関連ホームページ** <http://www.city.iwanuma.miyagi.jp/kakuka/020400/025000/110oyakofureaiehon.html>
- 事業期間** 平成13年度から
- 関係施策分類**

予算関連データ

総事業費：1,820千円

名称	所管	金額(千円)
一般財源	-	1,820

施策のポイント

岩沼市で力を入れている「親子ふれあい絵本事業」を軸に、岩沼市独自で企画・制作した「岩沼おはなしワゴン」「絵本読み聞かせ支援システム」を活用し、市民の絵本を通じた親子のふれあいに対する意識向上及び絵本を媒体に主体的に表現する場の提供を行っている。

施策の概要

1. 取組に至る背景・目的

この施策には(1)選定絵本2冊交付、(2)絵本のひろば、(3)手作り絵本コンテストの3点のポイントがある。この事業の目的は親子の絵本を通じたふれあいの促進であり、根幹をなす部分は(1)で、平成13年度から行われているが、その効果的な実施のため、安心こども基金を活用し、(2)と(3)を平成23年度から企画し、24年度から実施することとなった。

2. 取組の具体的内容

- (1) 選定絵本2冊交付…1歳8か月児健診の際、選定委員の選んだ選定絵本20冊の中から2冊を選んでもらい、交付する。
- (2) 絵本のひろば…市内の公園等で職員による読み聞かせパフォーマンスを楽しみ、その後ポップアップ絵本やしかけ絵本を楽しむ。
- (3) 手作り絵本コンテスト…手作り絵本を募集し、入賞した作品は「絵本読み聞かせ支援システム」へ取り込む。

3. 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

- (1) について…1歳8か月健診受診児への100%交付
- (2) について…絵本に興味がない乳幼児保護者でも見てみたい気持ちが持てるようにしていく。
- (3) について…絵本製作を通して、絵本についての意識と親子のふれあいを深めていく。

4. 現在までの実績・成果

- (1) について…平成13年度より健診受診者に対し交付を行ってきた。平成20年度には選考委員を設定し、リニューアルした選考絵本の中から交付している。
- (2) について…毎月1回市内の公園（特に被災地域にあるもの）に出向いており、毎回10名近く参加者が集まっている。
- (3) について…23年度からは準備段階としてはじめ、24年度からは本格募集し、現在進めている最中である。

5. 導入・実施にあたり工夫した点や苦労した点とその対処法・解決策など

(2) については、職員が地域に出向くことで、地域から出てくる事が出来ない親子にも機会が与えられるよう配慮した。(3) については、関係機関（学校・図書館）や他事業とも連携し、情報提供していくなど工夫をした。

6. 今後の課題と展開

現在、子育て中の親子並びに絵本に興味のある市民には少しずつ浸透しつつあるが、まだ市全体では周知されていないので、市全体で当事業とその狙うところについて共有できるよう努めたい。